

パーマネント
コース紹介

初心者に優しい高尾山

高尾山頂・薬王院コース(東京都)

大高竜亮

天気がよければ人で溢れる高尾山。それだけ手軽で多くの人に愛されている地域にできた、初心者向けのコース。

高尾山頂・薬王院コース
東京都 No.9 JOA 公認 No.9 4 km 10 ポスト

歴史を誇る高尾山のコース

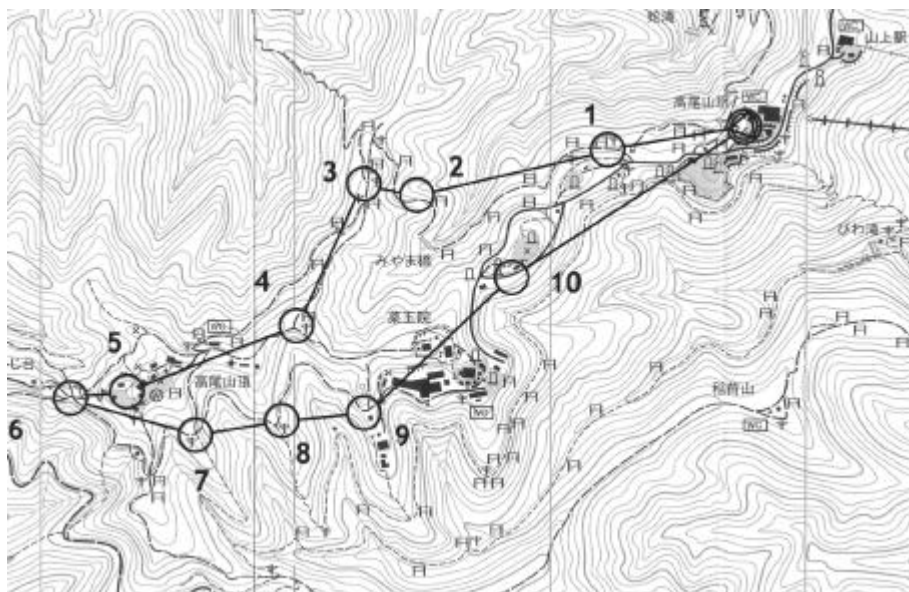
日本のオリエンテーリング発祥の地である高尾山。3つのパーマネントコースが設置されたのも黎明期にあたる昭和46年のこと。36年もの歴史を誇ります。

その歴史を簡単にひも解くと、日陰林道入口を出発していた「奥高尾」コースが昭和50年代後半に一時休止となり、高尾登山電鉄(ケーブル)「高尾山」駅を基点とするコースに変更されています。このとき距離も2km延長されました。同時に6号路(びわ滝コース)を經由して高尾山頂を目指していた「表高尾」コースの往路が、1号路(表参道コース)に変更となり、登録距離が8kmに短縮。「南高尾」コースは開設当初の設定のままながら、登録距離が7kmに変更されています。その後、12だった「奥高尾」のポスト数が10に変更されたり、一部のポストが埼玉県協会から買い上げたものに刷新されたりといった手直しを繰り返しながら維持されてきました。

久々の大幅変更となった今回の見直しは、圏央道の建設工事により、「南高尾」コース第3ポストへ下るルートが通行不能となったことが大きな要因です。3コースの中で唯一原型を留めていた「南高尾」コースの甲州街道から東側のエリアに連絡するルートが消滅。結局ここを放棄せざるをえなくなり、残念ながら廃止が決まりました。

同時に、「奥高尾」コースのスタート地点が三度変更され、京王「高尾山口」駅前となり、全16ポスト、総距離15kmの日本一長いコースに生まれ変わっています。「表高尾」コースは同じルートながら、4つのポストが追加されました。

そして今回紹介するのは、「南高尾」コースの公認ナンバーを継承すること



今回新規に設定された高尾山頂・薬王院コース。初心者でも気楽に回れる設定が嬉しい。

になった、新設の「高尾山頂・薬王院」コースです。旧「奥高尾」コースのスタート地点、ケーブル「高尾山」駅をスタートし、コース名の通り、高尾山頂と薬王院をコンパクトに巡る初級向きの設定になっています。登録距離はわずか4kmしかありません。新コースのオープン記念大会は7月に開催されたばかりです。

高尾山一帯は昭和42年12月に明治100年の記念事業として「明治の森高尾国定公園」に指定されました。高尾を基点とする東海自然歩道の終点となる大阪府の「明治の森箕面国定公園」もこの時に指定を受けています。

関東ではあまりにメジャーな観光地であり、年間の来訪者は217万人にも及びます。私も昭和54年3月に「表高尾」コースを訪れて以来、6度目の登山になります。

ケーブルカーもまた楽し

この日は11時半に「高尾山口」駅に到着。駅前に立つ大きな案内板に3コースの新マスターが掲示されていることを確認してから、駅構内の売店に向かいます。多くの場合、売店でマップを頼むとレジの下や後ろから取り出してくれるのですが、ここでは他の商品と同じように売場に陳列されています。3コースそれぞれのマップが全て販売されており、代金は1部200円です。

ポスト位置は予め印刷されています。ついでに名物の酒まんじゅうもここで購入します。

ケーブルの「清滝」駅まで歩き、900円の往復乗車券を購入。片道乗車券は470円。併走するリフトも同一料金です。紅葉シーズンには早いものの、3連休の中日とあってケーブル乗り場は長蛇の列。乗り込んだ車両には座る席もないほどです。通常15分間隔の運転が7分間隔に増発して捌いている状況でした。路線距離1km、所要5分というなかに、31度14分という日本最急勾配が待ち構えています。いかにケーブルカーの車両自体に斜度がついているとはいえ、踏ん張る足に力が入ります。

「高尾山」駅に着き、人の流れに従って改札を出ると、正面上方の休憩所に明治チョコレートの広告のある大きなイラストマップが記された看板が目に入ります。パーマネントコースの案内板はこの真下にあり、新コースのマップが掲示されています。2代目の「奥高尾」コース時代から20年以上使用されていたものを流用していますが、化粧直しされて新品と見まがいそうなほど。コース名とナンバーがマジック書きの紙を上張りしただけというのは少々減点。新しいプレートが完成するまでの暫定措置かもしれませんが...

押し寄せる観光客

案内板前に置かれたベンチに座り、早速酒まんじゅうを食べていると、次から次へとイラストマップを見に観光登山客がやってきます。4km という気楽さから、ゆっくりと腹ごしらえをするつもりでしたが、何やら見世物にでもなった気分が落ち着かず、早々にスタートします。時刻は12時9分です。

スタート直後に真新しいポストが出現します。他の2コースのものかと思っただけで確認すると、いずれにも含まれないものでした。公認コース以外にも自在なコースが組めるような工夫が凝らされているようです。従来のポストと比較すると華奢な作りであることは否めませんが、ステンレス製の支柱がピカピカと光り、コースのリニューアルを印象づけています。このルートは「薬王院」への表参道にあたり、登山道というより観光地といった様相です。

「猿園」や「野草園」といった施設や、根が蛸の足のような「たこ杉」を横目に、真っ赤な鳥居「浄心門」前までやってきます。ここから右に続くのが4号路。吊り橋である「みやま橋」まではゆるやかな山道が続きます。4号路に入ると間もなく第1ポストに到達します。以前の「表高尾」の第3ポストから幾分東寄りに移設されています。

第2ポストも4号路の途上です。この先も渋滞気味。行き交うハイカーをやり過ごしながら進みます。普通のハイキングコースであれば、出会ったハイカーとは挨拶を交し合うものですが、ここではそういった光景が見られません。あまりに頻繁に行き違うこと、登山マナーに疎い観光気分の来訪者の多さがその理由かもしれません。3年前に「表高尾」コースを歩いたときにはリフレッシュ工事中だった「みやま橋」20年以上前の写真を見ると水色の橋でしたが、今は自然に溶け込む茶色に塗り替えられています。渡り終わると大きな左カーブがあり、その先から上り坂となります。印刷されたポスト位置よりはやや西寄りに第2ポストは置かれていました。

もみの木の森を抜けていくと、尾根道に差し掛かります。このあたりではレジャーシートを広げてお弁当を楽しむグループがそこかしこに見られます。広いスペースのある場所ではありませんが、もう少し歩けば高尾山頂という地点。どうせなら頂上で食べたほうがいいのではと思いたくるところですが、その考えは山頂に着いた時点で吹き飛

ぶことになります。

第3ポストは「奥高尾」コースへのルートとの分岐に設置されています。ここは初期の「奥高尾」コースのポストが置かれていたところで、コース再編後もしばらくは古い鉄製のポストが流用されていました。

急勾配の尾根道を進むと再び1号路と合流します。さながら歩け歩け大会のような、ハイカーの練り歩く光景に出くわし、もはや食傷気味。ポストはこの分岐に立つ「いろはの森」の案内看板前に置かれています。

高尾山頂の第5ポストまでは大渋滞。山頂に着いてみれば第4ポスト周辺まで人が溢れるのも納得の混雑ぶり。日和のいい日に来るのも考えものです。下ったところにあるポスト周辺も昼食休憩の人たちでぎっしりの状態。ポストの写真を収めるのも一苦労でした。本来なら山頂では一息入れたいところですが、この混雑ではそんな気分も失せてしまい、第6ポストへと向かいます。



多くのハイカーで賑わう高尾山頂のポスト

ここは階段状の坂道を下るだけ。距離もこのコース最短で、分岐に立つポストには数分で到達します。「これより奥高尾」と記された丸太のポールも立ち、ハイカーの姿もここから西に向かうにつれ減少します。なお、2008年2月末まで森林整備のための間伐が行われている影響で、「奥高尾」コースの第11、12ポストへのアクセスができてなくなっています。ご注意ください。

第7ポストと第8ポストへは「からまつ林」コースと名づけられた3号路をたどります。等高線に沿った平坦なルートで、のんびりと森林浴を楽しめる区間です。ポストはいずれも分岐脇にあり容易に見つけられるでしょう。

ここから「薬王院」に抜けるルートは号路指定のない歩道で、人影もまばら。ようやくPC気分が湧いてきます。

LPガス供給設備前で第9ポストを確認し、終盤のクライマックスへ。

薬王院は正式名称「高尾山薬王院有喜寺」といい、1,200年余り前、奈良時代にあたる天平16年(744年)に聖武天皇の勅願により行基菩薩が薬師如来の尊像を刻み、安置したことで東国鎮護の霊場として開基されたと伝えられています。

遊歩道から境内に入るとそこはもう、人、人、人…。初詣の季節のような混雑ぶり。それでも石段を登り、「飯縄権現堂」に着くと高尾天狗伝説に登場する鼻の高い大天狗と鳥の嘴を持つ小天狗(鳥天狗)の像が立っています。その後ろの顔面像はさらに圧巻。ゆっくりと参拝して、最終ポストを目指します。

赤い灯籠の並ぶ参道を進むと、道端にあるポストが確認できるでしょう。石段をくだり、1号路に合流するとゴールはもうすぐです。



小天狗像

所要時間は1時間13分。従来はエリアごとと同じレベルのコースが3つ設定されていましたが、今回の変更で利用者の体力や経験に応じてコースを選べるようになりました。そのなかでもとびきり初心者に優しい「高尾山頂・薬王院」コース。仲間を誘ってオリエンテーリング体験に活用してみませんか。

(2007年10月7日 踏破)
(大高竜亮)